

退職の先生のお言葉

ナカジマ鋼管株式会社
中央研究所 所長

中島 正博

平成 14 年卒業(第 61 回)



平成 29 年 3 月をもちまして名古屋大学大学院工学研究科マイクロ・ナノシステム工学専攻の助教を退職し、4 月からナカジマ鋼管株式会社 中央研究所 所長に着任いたしました。また、8 月から名古屋大学大学院工学研究科マイクロ・ナノ機械理工学専攻の客員准教授に着任いたしました。

私は、平成 13 年 3 月に静岡大学工学部機械工学科を卒業後、平成 18 年 3 月に名古屋大学大学院工学研究科マイクロシステム工学専攻博士課程を修了し、同年 4 月からマイクロ・ナノシステム工学専攻に 11 年間勤務いたしました。数々の研究教育活動に加え、所属学会での活動など、国内外の研究開発機関の方々との交流する機会を得て、多くの刺激を受けることができました。その間、ご指導・ご鞭撻を賜りました皆様に深く御礼申し上げます。

私は、世界に先駆けたマイクロ・ナノメカトロニクス技術の発展に貢献するため、主にマイクロ・ナノロボティクスに基づいたマイクロ・ナノスケールの微細作業に関わる研究を行っています。この分野は、マイクロ・ナノデバイス応用はもとより、近年のバイオや医療技術など、異分野に渡って学際的に、新たな応用や発展が続いています。今後も名古屋大学が当分野において、世界をリードし研究開発の拠点として発展することを期待しています。

ナカジマ鋼管株式会社は、「冷間成形」・「熱間成形」の両方式で建築構造用鋼管を製造している唯一の国内メーカーです。地震大国といわれる日本では、耐震性に優れた建築構造物が求められています。このためには、新たな技術革新やものづくりが重要です。マイクロ・ナノスケールからアプローチすることで次世代材料を開発し、より安価で耐震性に優れた建築構造物の実現を目指しています。また、より効率的で先端的な製造技術や生産設備の研究開発と導入も積極的に行っています。今後も、世界的な視野に立って、時代の先を読み、柔軟かつ大胆に研究開発を続けていく所存です。

東山会の皆様には、引き続きご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。